

サムライクラウド部会報告



- 2013年度NCWG・CBA連携部会成果報告書公開
- CSB(クラウドサービスバス)を利用したIdP、SPのPaaS化ソリューション
(Cloud Application Desktop)
→最小構成アプリケーションをCBAとの連携部会で発表
- CBAクラウドバレンタインイベントで連携部会を代表して
成果発表

次回CBAとの連携部会 2/24月曜日 11:00 JPタワー

Cloud Application Desktopとは

- IDフェデレーション、DS連携の研究を行う中で、下記の問題点を改善することを検討しました。
- 同時に技術的なチャレンジ要素として、WebSocketの様なオープン技術を用いて、サーバー間によるサーバー→クライアント方向の接続によるセキュリティ向上の可能性を模索しました
 - SP設置の設定難易度
 - SP設置のコスト(労力だけでなく、署名証明書など)
 - SP運用のセキュリティ面

Cloud Application Desktop として
統合環境をPaaS化することで諸問題を解決！

Cloud Application Desktop

ユーザー

Cloud Application Desktop

認証

ポータル

ワークフロー

Cloud Service Bus (CSB)

マルチクラウド
ド化も可能

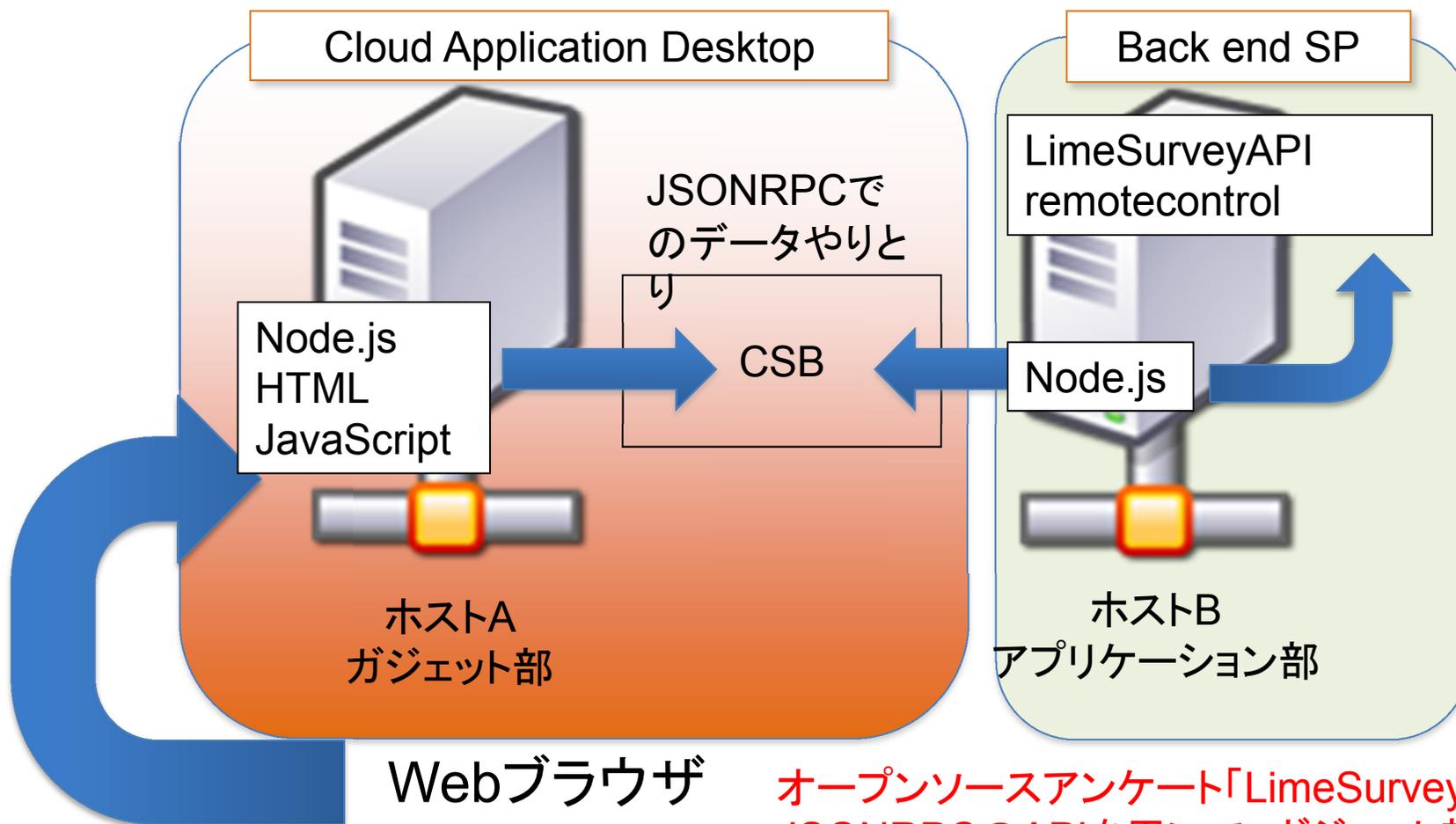
Back end
Service Provider

Back end
Service Provider

プライベート
CAでの運用
が可能



検証環境



オープンソースアンケート「LimeSurvey」のJSONRPCのAPIを用いて、ガジェット部とアプリケーション部をCSBを介して接続